

# おひさまだより



令和7年3月1日



園長 免出 智美

寒さの中にも、少しずつ春の温かい日差しが感じられるようになり、今年度もあと1か月になりました。この一年間の子ども達の変化は素晴らしいものがあり、心身ともに大きく成長しました。進級や卒園・入学という節目を迎えて、新しい生活への希望と自信を持ちながら園生活ができるようにしたいと考えています。4月からはみどりの森おひさまこども園としてスタートします。引き続き、保護者の皆様の温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます

## 3月行事予定

月	日	曜	行事予定
3	1	土	保護者交流会（そら組）
	3	月	ひな祭り会
	5	水	園庭開放（未就園児） 山登り（ひかり組）*おうち弁当
	7	金	山登り予備日（ひかり組）*おうち弁当
	8	土	令和7年度入園説明会（一次）
	11	火	身体測定（乳児組）
	12	水	身体測定（幼児組）
	15	土	令和7年度入園説明会（二次）
	18	火	お別れ会
	22	土	第5回卒園式
	25	火	花見散歩（たけのこ組）*給食弁当
	27	木	花見散歩（りす・ひかり組）*給食弁当
28	金	花見散歩（うさぎ組、そら組）*給食弁当	

※変更の場合あり

★お弁当の日：8日、22日

★3月8日22日は家庭保育に可能な限りご協力いただきありがとうございます。

## 自然とのかかわりで育つもの

暖かくなり、散歩に出かける機会も増えてきています。自然とかがわると何が育つのでしょうか？

幼稚園教育要領、保育所保育指針では、子ども達の自然に触れることの重要性が強調され3つの視点が大切であると考えられます。

- ① 自然環境で元気に遊び、心も体も健康に
- ② 自然への興味・関心が広がり豊かな感性が育まれる
- ③ 動植物との触れ合いによって生命の尊さに気づく

乳幼児期の人生で一番心の動く時に自然に触れ五感を通して「きれいだなあ」「おもしろい」「音がする」「ごつごつしている」「いい香り」「おいしい」などと豊かな感覚・感性を養います。これらの経験から子ども達は好奇心・探求心を育み生きる力を身につけます。

## お知らせ

令和7年4月よりみどりの森おひさまこども園になります。幼児組の1号定員枠にまだ空きがありますので、お知り合いの方で入園にご興味がある方がおられましたらぜひお声掛けをお願いします。

2月24日、結婚式を挙げられました。  
二反田先生、末永くお幸せに♥



## ドキュメンテーションから抜粋（各クラスの1枚）

子どもは、遊びからたくさんのことを学んでいます。「何を感じ」「気づき」「理解できる」ようになるのか、「試す」「工夫する」「表現する」など学びに向かう力がドキュメンテーションに毎日記録されています。子どもたちの豊かな感性やおもしろい発想、友だちへの思いやり、協同する力をドキュメンテーションからみつけてください。



### どんぐり（0歳児） 「歌が聴こえてきた！」

歌が聴こえてきたことに気づき、身体を動かすことを楽しむ様子があります。手首を返してひらひらと手を動かしてみたり、段差を超えながら這い這いをするを楽しんだり、リズムをやってみようとする中で、身体の動かし方を知っていきます。

### たけのこ（1歳児） 「やった～！できた！」

斜面から滑らせて、トンネルの中に入れるにはどうしたら良いかを考えながら遊んでいました。” どうしようかな” と考える力や、何度も試す集中力が身についています。最後のできた！という達成感自分で最後までやり遂げたことで感じることができます。



### りす（2歳児） 「靴屋さんで～す」

靴屋さんを営業すると周りにいた友だちも興味をもち、みんなで机の上に靴を置いていました。「靴屋さんで～す！ピンクの靴が可愛いですよ！」「青の靴がカッコいいですよ！」と自分の靴のいい所を友だちに伝えていました。みんなでイメージを共有し、靴屋になりきり遊びを楽しんでいました。

### うさぎ（3歳児） 「この木はどの木？」

公園に落ちていた木のかげらに興味をもつと、周囲の木を見比べて同じ木を探します。見たり、実際に触って感触を比べたりと視覚や触覚を使って探求心を働かせています。探求する中で想像したり予測したりと面白さを友だちと共有しています。



### そら（4歳児） 「劇団そら♪開演です」

アステールホールで学生の方の劇を見に行った時のことを思い出し、劇を披露始めました。築山をステージに見立てて、友だちの名前を呼んで登場し、「みんなで手を繋ごう」「歌を歌おう！」と友だちと一緒にストーリーを作りながら遊ぶことの楽しさを味わっていました。身近な人の行動や言葉をまねることで生活に必要な力を楽しみながら身につけていきます。

### ひかり（5歳児） 「お米について知りたい」

お米を少しずつもみすりしていく中で、お米を作る大変さを感じたりお米に興味を持ったりしてました。もっとお米について知りたい！と本を借りに行くことになり、今まで精米だと思っていた作業がもみすりだと知ったり、お米で作れる料理があることを知ったり色々な発見がありましたよ。

